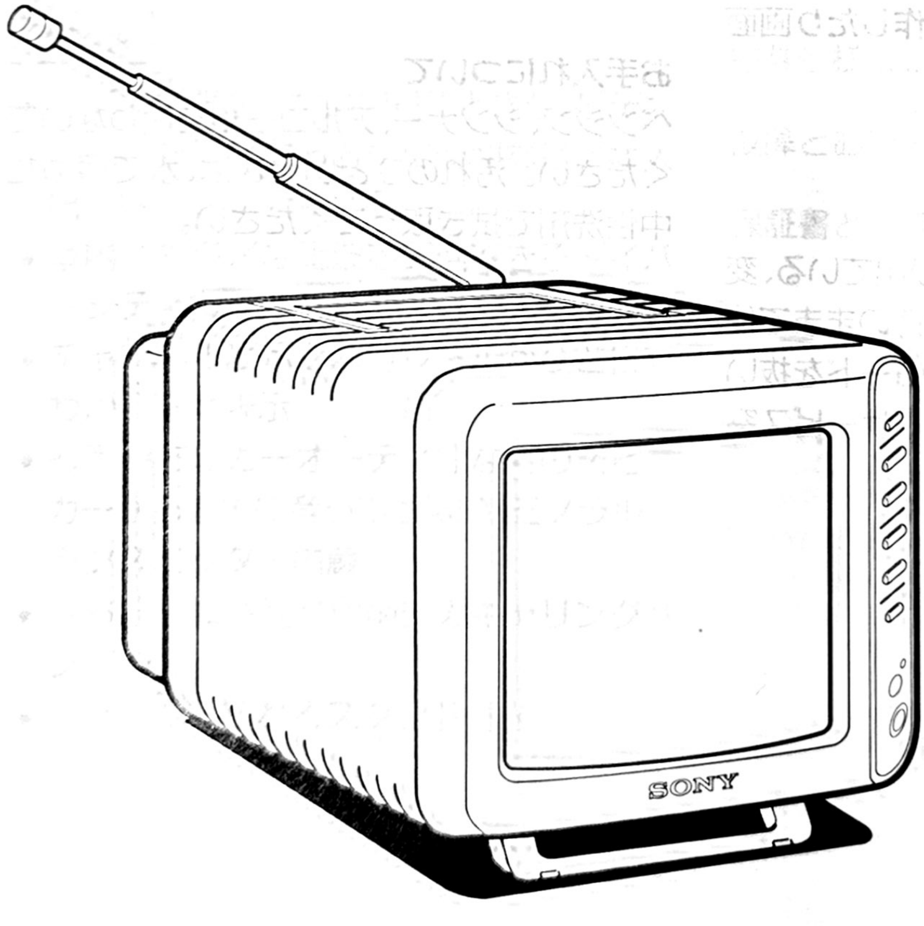
SONY

3-758-980-02 (1)

トリニトロン® カラーテレビ

KV-6AD3

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、
必ず保存してください。
別冊の「使用上のご注意」もあわせてご覧ください。

© 1994 by Sony Corporation

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

下記のことを必ずお守りください。

- **キャビネットを開けないでください。**
  内部には電圧の非常に高い部分があり、手を触れると危険です。
- **通風孔をふさがないでください。**
  内部の温度が上昇し、故障の原因になります。
- **内部に、液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。**
  そのまま使うと、火災や感電、故障の原因になります。
- **運転者は、走行中に本機を操作したり画面を見たりしないでください。**
  事故につながります。

異常と思ったら

音は出るが画面が映らない、煙が出ている、変な音や臭いがするなどの故障状態のままで使用すると危険です。すぐに電源コードを抜いて、お買い上げの店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- ほこりの多い所
- 風呂場などの湿気の多い所
- 直射日光が当たる所
- 暖房器具のそばの温度の高い所
- 走行中、運転の妨げになる所

この製品は車載専用ではありません。特に夏期などは、窓を閉め切った自動車内に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因になることがありますのでご注意ください。

お手入れについて

ベンジン、シンナー、アルコールを使わないでください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤で拭き取ってください。

主な特長

ブラウン管

鮮明な画像と自然な色を再現でき、さらに奥行きが短くなった高輝度6型ショートネックトリニトロン管採用

電源

部屋の中はもちろん、車の中でも手軽に見られるAC/DC(12/24V)対応

チャンネル選局

簡単で確実なダイレクト選局とシーク選局

その他

- ビデオ機器をつないで見るときや、ビデオテープを編集するときに便利なビデオ入出力端子
- 車内でも良好な電波を受信できるダイバーシティカーアンテナ対応
- チャンネル表示と音量レベルがひと目でわかる画面表示
- お手持ちのカーオーディオなどのスピーカーから簡単に音が出せるFMモノラルトランスミッター内蔵
- 持ち運びに便利な収納式のキャリングハンドル
- 角度が変えられるスタンド付き

目次

各部の名前 4

電源について 8

テレビを見るには 10

画質を調整するには 12

便利な機能 13

チャンネル合わせをするには 16

外部アンテナをつなぐには 18

ビデオ機器をつなぐには 20

主な仕様 22

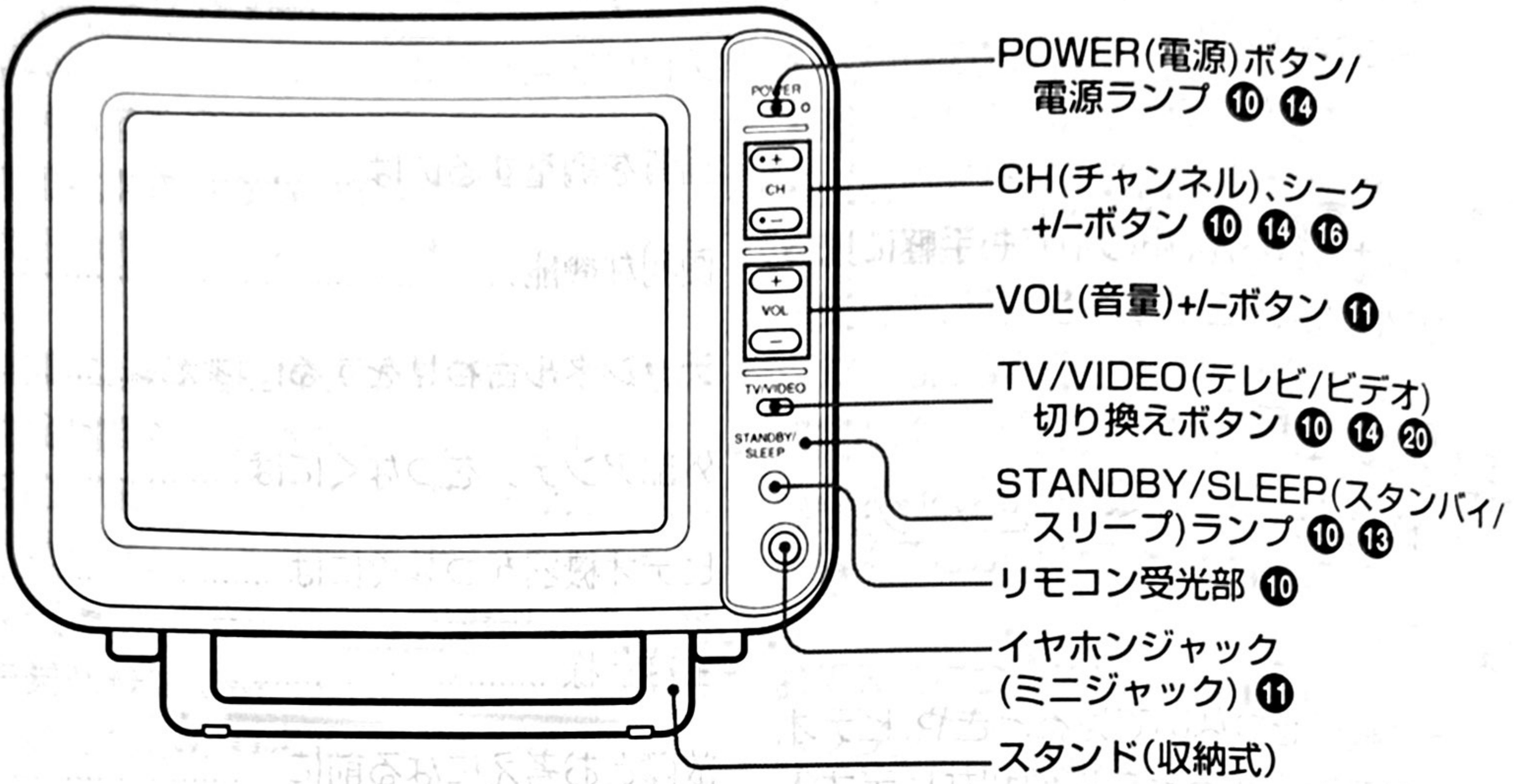
故障とお考えになる前に 23

保証書とアフターサービス .... 裏表紙

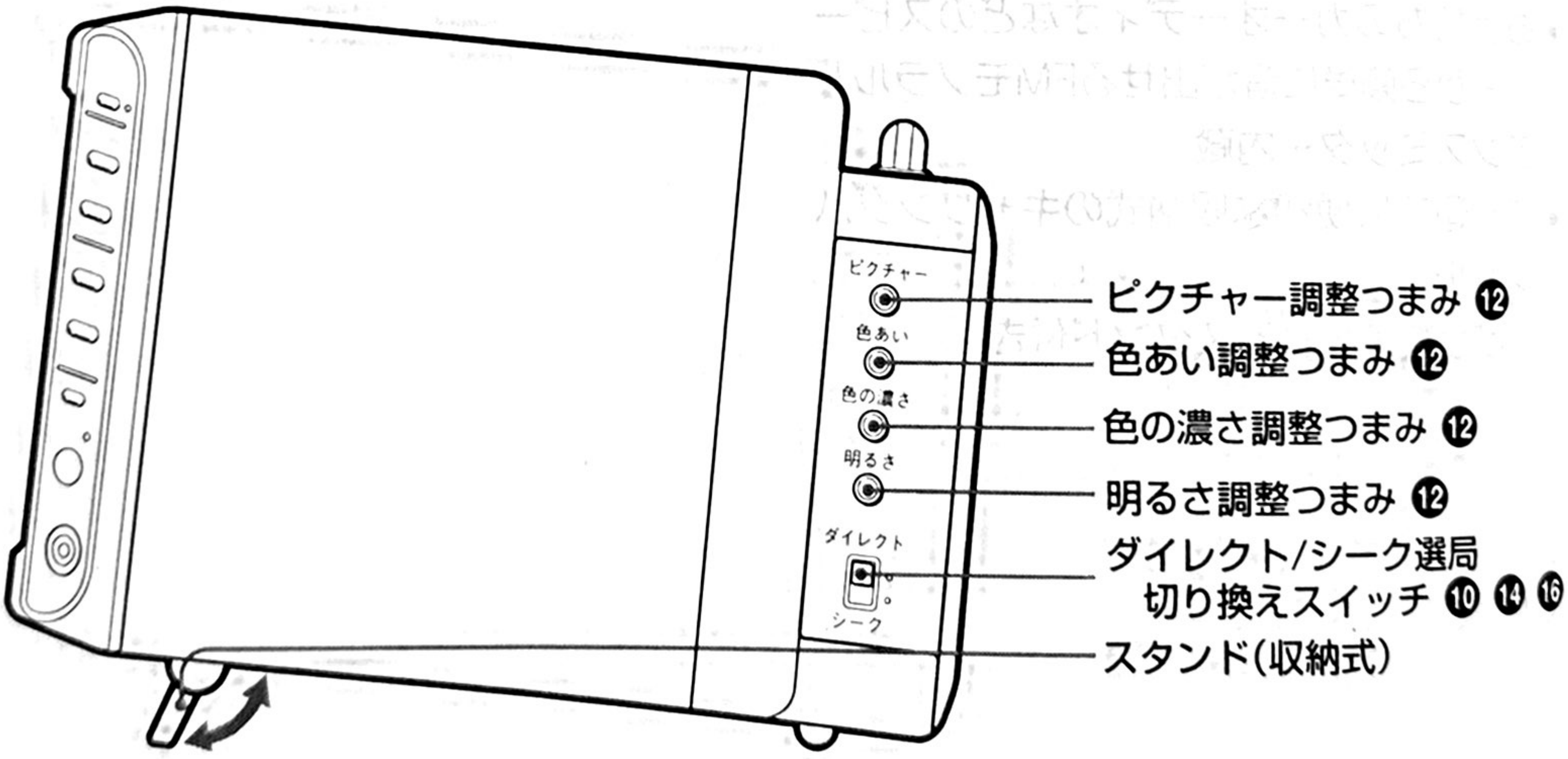
各部の名前

詳しい説明は、●内のページをご覧ください。

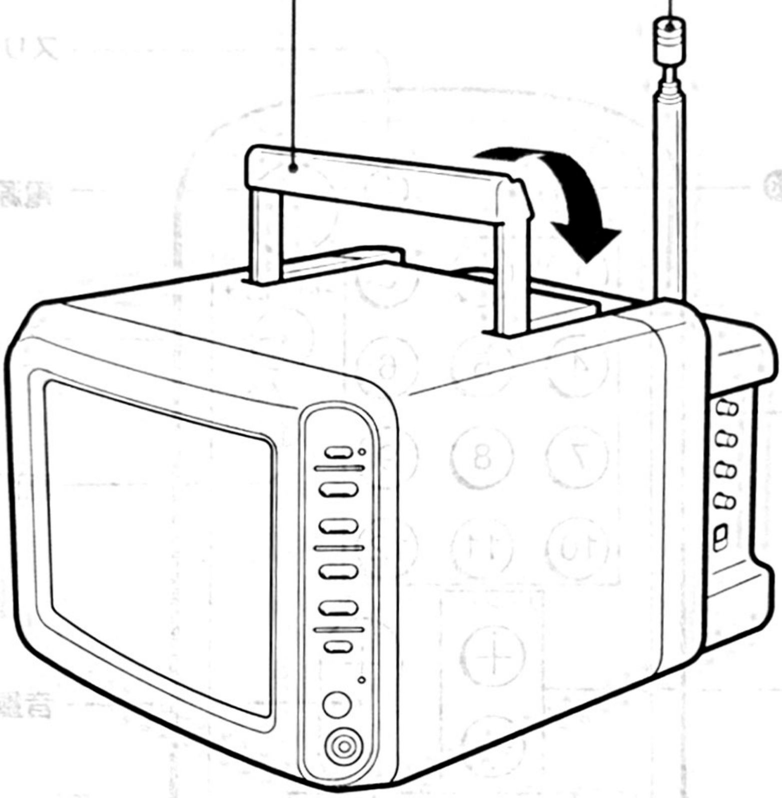
前　面



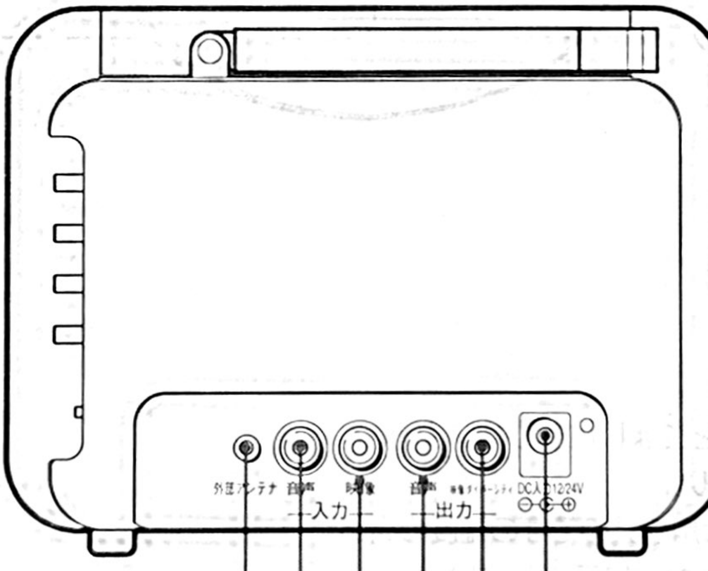
右側面



上　面

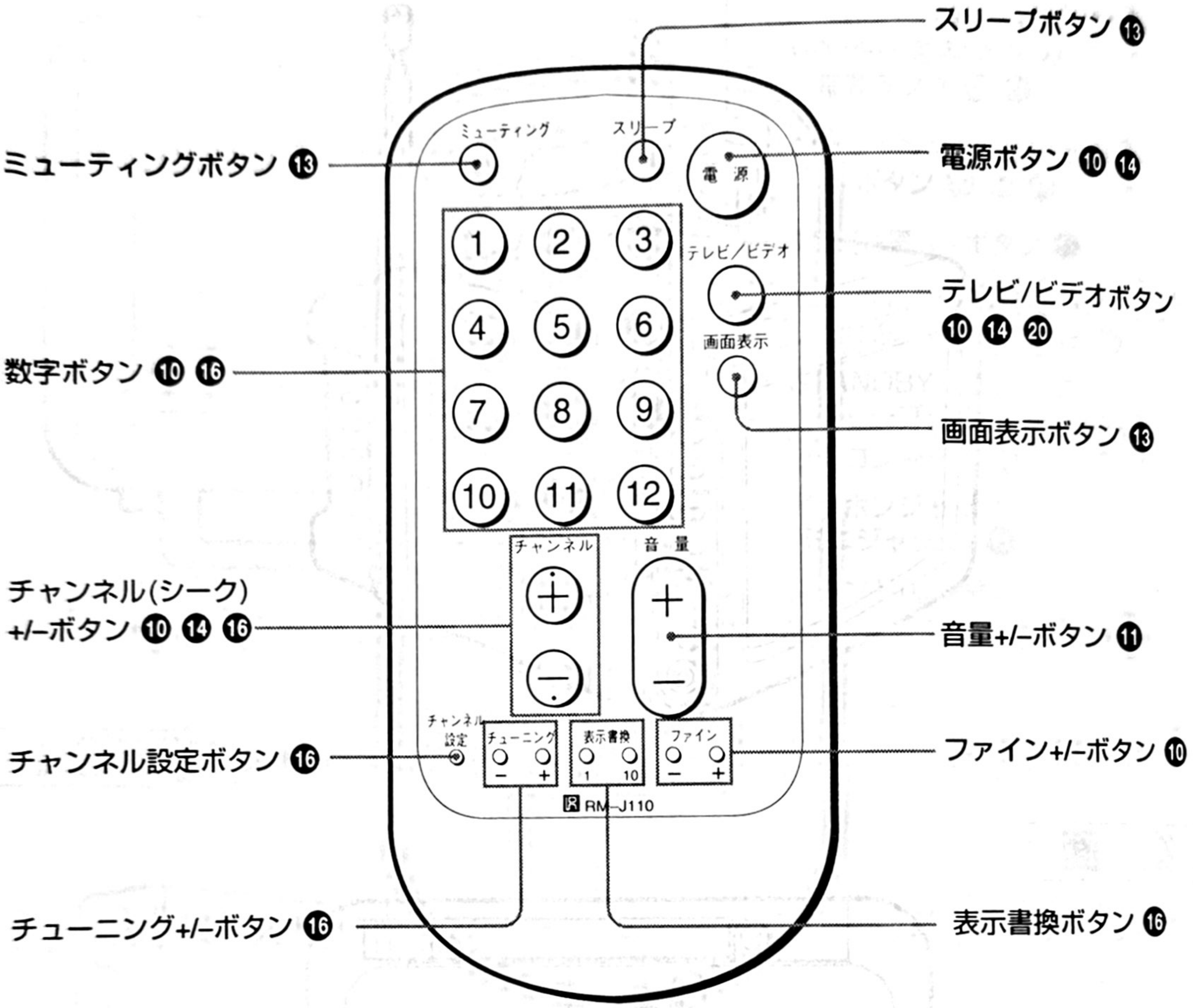

キャリングハンドル
(収納式)
ロッドアンテナ(収納式) ⑪

後　面


外部アンテナ
音声
映像
音声
DC入力12/24V
入力
出力
外部アンテナ端子(ミニジャック) ⑱
DC入力12/24V端子 ⑧ ⑨
音声入力端子 ⑳ ㉑
ダイバーシティ出力端子 ⑲
映像出力端子 ⑳ ㉑
映像入力端子 ⑳ ㉑
音声出力端子 ⑳ ㉑

各部の名前　詳しい説明は、●内のページをご覧ください。

リモコン

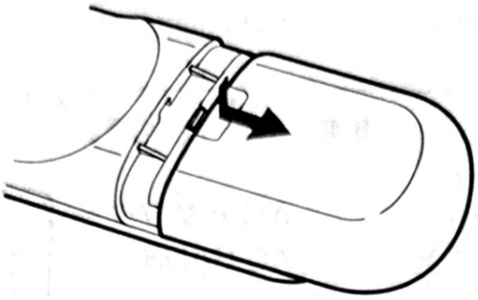


ご注意

- 落としたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たる所、暖房器具のそばの温度の高い所、湿気の多い所には置かないでください。
- テレビのリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できない場合があります。

乾電池の入れかた

1



2

乾電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモコン操作が効かなくなり始めたら、寿命ですので新しい乾電池とお取り換えください。

ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂の恐れがあります。次のことは、必ずお守りください。

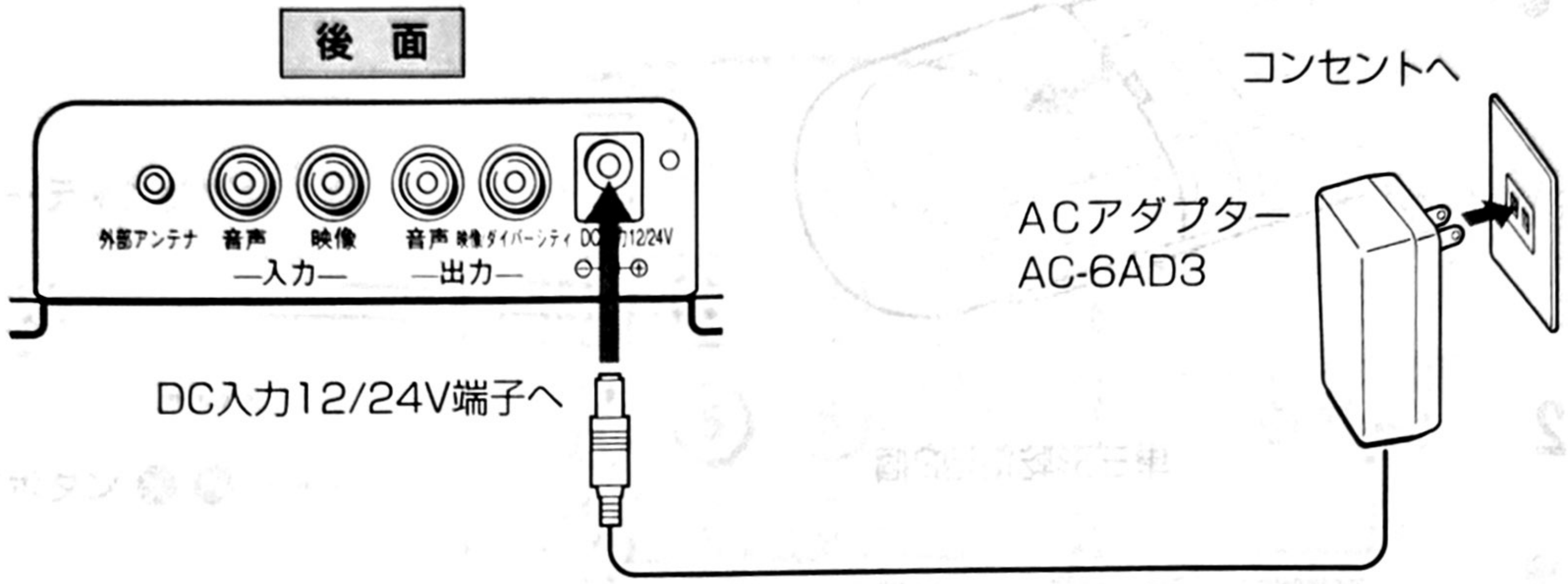
- +と−の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用済みの乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて入れないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出しておいてください。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

電源について

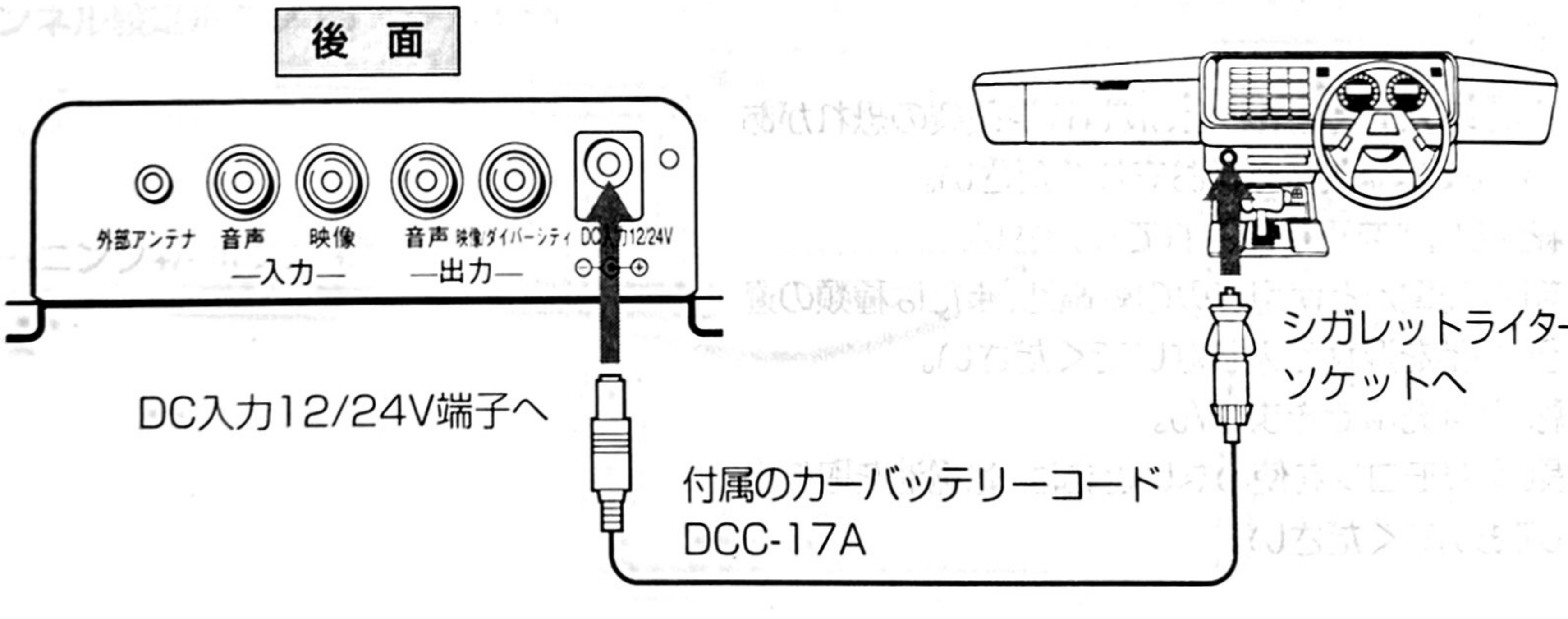
室内で見るには

付属のACアダプターをつなぎます。



車内で見るには

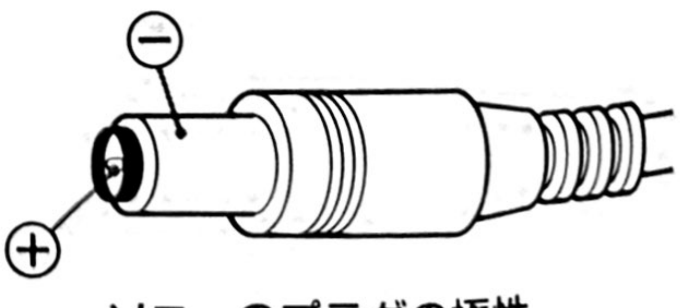
付属のカーバッテリーコードをつなぎます。



- **運転者は、走行中に本機を操作したり画面を見たりしないでください。**
- **テレビを使わないときは、カーバッテリーコードをシガレットライターソケットからはずしておいてください。**

ご注意

- 本機は12V/24V DC車(マイナスアース車)専用です。
- カーバッテリーコードは、必ず付属のものをお使いください。プラグの極性など仕様の異なる製品を使うと、故障の原因になります。



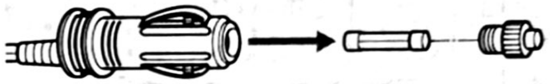
ソニーのプラグの極性

カーバッテリーコードのヒューズ交換のしかた

カーバッテリーコードのプラグ部分には、ヒューズが入っています。
電源が供給されない場合は、ヒューズが切れていないかどうか確かめてください。
ヒューズが切れた場合は、市販されている同じ定格のヒューズ(5A125V)と交換してください。

1 プラグ部分の先端を回してはずします。

2 ヒューズを取り出します。

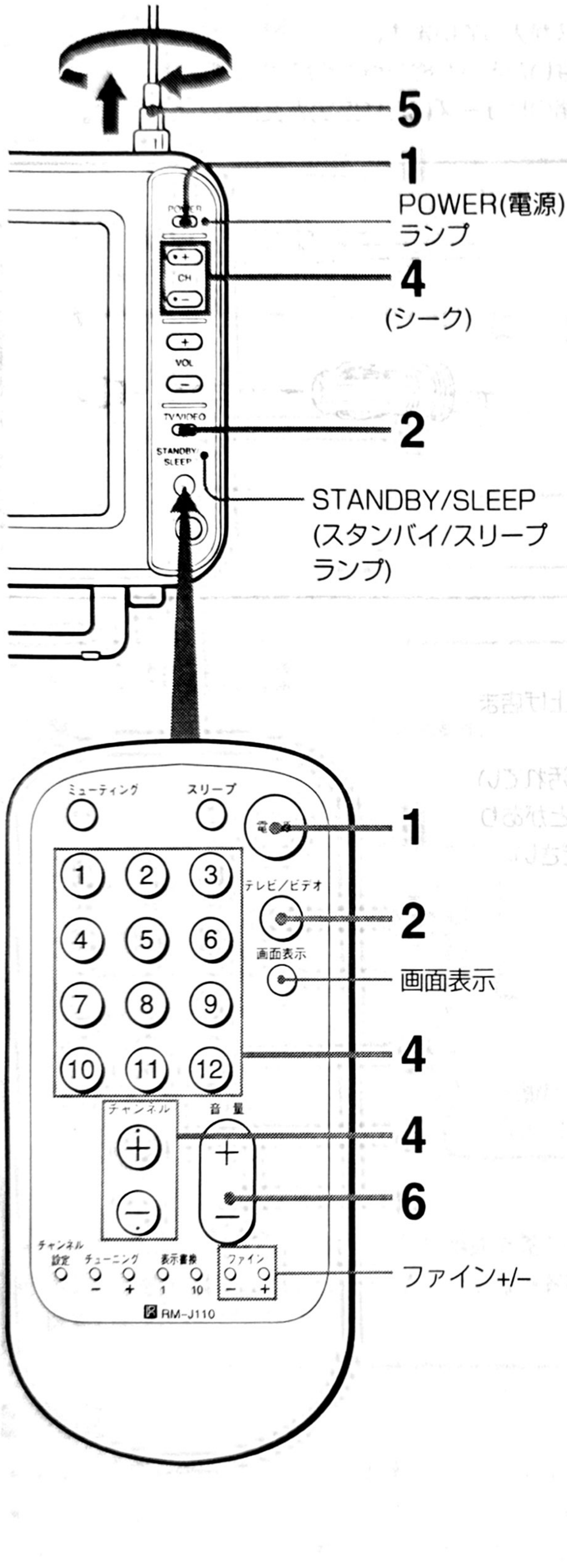


3 新しいヒューズを入れ、プラグ先端をもと通りにしっかり締めます。

ご注意

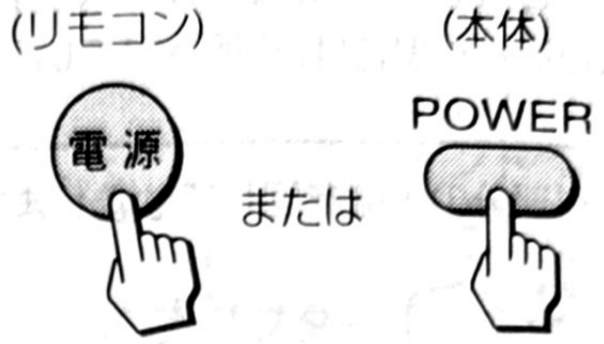
- ヒューズ交換など修理の依頼のときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へご持参ください。
- 自動車のシガレットライターソケットの内部が汚れていると、接触不良によりプラグ部分が熱くなることがあります。お使いになる前に必ずきれいにしてください。

テレビを見るには　リモコンまたは本体で操作します。



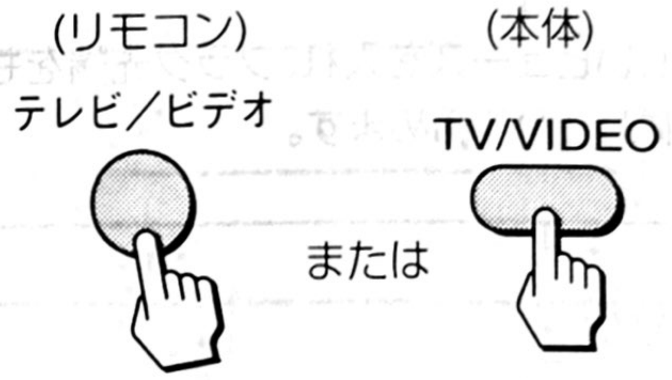
1　電源ボタンを押す

POWER(電源)ランプがつきます。



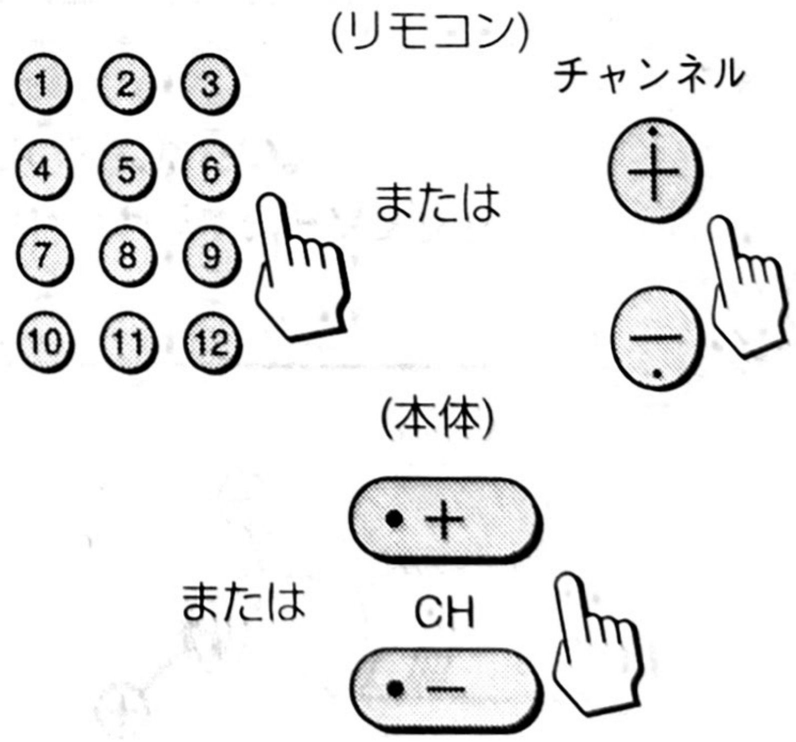
2　画面に「VIDEO(ビデオ)」の表示が出たときは、
テレビ/ビデオボタンを押す

「VIDEO」の表示が消えます。



3　ダイレクト/シーク選局切り換えスイッチを
「ダイレクト」側にする
—ダイレクト選局

4　見たいチャンネルを選ぶ

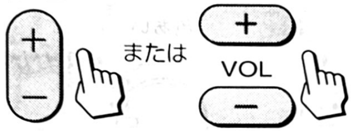


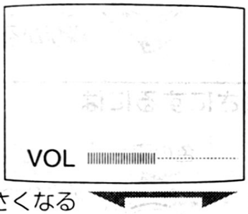
5 ロッドアンテナを調整する

ロッドアンテナを引き出し、方向、長さを調整して一番見やすい状態にします。
屋外アンテナ、ダイバーシティカーアンテナの接続については、⑱～⑲ページをご覧ください。

6 音量を調整する

(リモコン)
音量





シーク選局をするときは

① **ダイレクト/シーク選局切り換えスイッチを「シーク」側にする**

ダイレクト

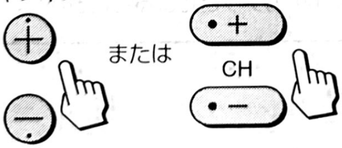
(本体右側面)

シーク

② **チャンネル(シーク)+/−ボタンを押して選局する**

(リモコン)
チャンネル

(本体)



+を押すと、高い周波数のチャンネルを探します。−を押すと、低い周波数のチャンネルを探します。
詳しくは、⑭ページをご覧ください。

ダイレクト選局とは
数字ボタンをひとつ押すだけで選局できる方法です。お買い上げ時は、数字ボタンを押すとボタンの数字と同じチャンネルが映るように設定されており、チャンネル+/−ボタンを押すと、1～12のチャンネルが順次切り換わるようになっています。
UHF放送などは、1～12の使わない数字ボタンにチャンネルを合わせておく(⑯)と、この方法で選局できて便利です。

シーク選局とは
チャンネル(シーク)+/−ボタンを押し、受信できるチャンネルを探しながら選局できる方法です。1～12の数字ボタンに登録されていない放送を見るときや、車内および旅行中などに受信できるチャンネルを探すときに便利です。

チューニングの微調整をするには―ファイン
リモコンのファイン+/−ボタンを先のとがったもので押し続けると微調整ができます。
隣接チャンネルがある場合や電波状態が良くない場合などにこの微調整をします。

テレビを消すには
リモコンまたは本体の電源ボタンを押します。
画面が消えてSTANDBY/SLEEP(スタンバイ/スリープ)ランプがつきます。
次に電源を入れるときは、リモコンまたは本体の電源ボタンを押してください。

消し忘れを防止する―オートシャットオフ機能
放送が終了して約1分後に音が消え、その約10分後にテレビ画面も消え、STANDBY/SLEEP(スタンバイ/スリープランプ)がつきます。
ただし、放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、テレビが消えないことがあります。できるだけ消し忘れないようにしてください。

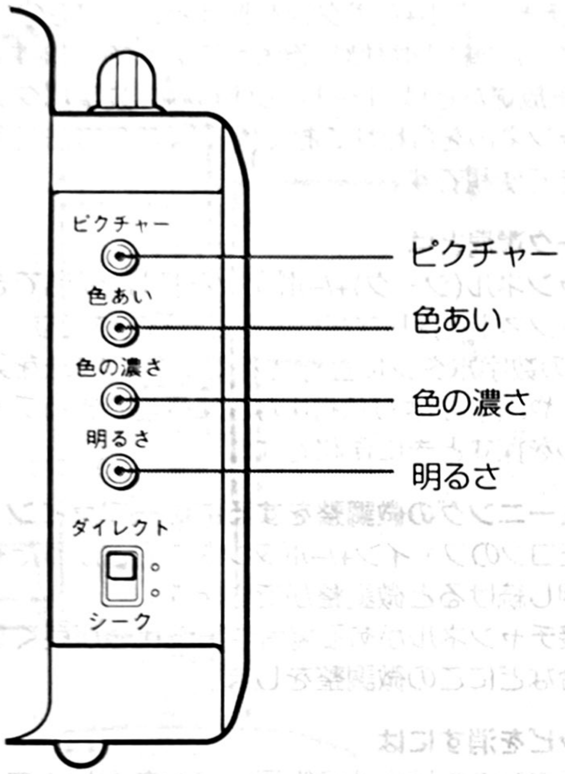
外出するときやおやすみになるとき
ACアダプターをコンセントからはずしておきます。

チャンネル表示を画面に出すには
リモコンの画面表示ボタンを押します。
もう一度押すと、消えます。

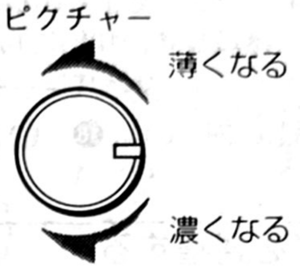
イヤホンで聞くには
イヤホン端子(④ページ)につなぎます。

画質を調整するには

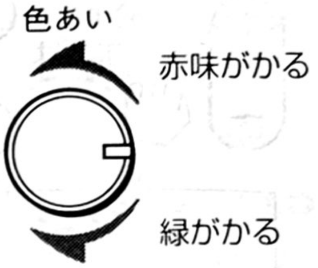
右側面



部屋の明るさに合わせるには



自然な肌色にするには

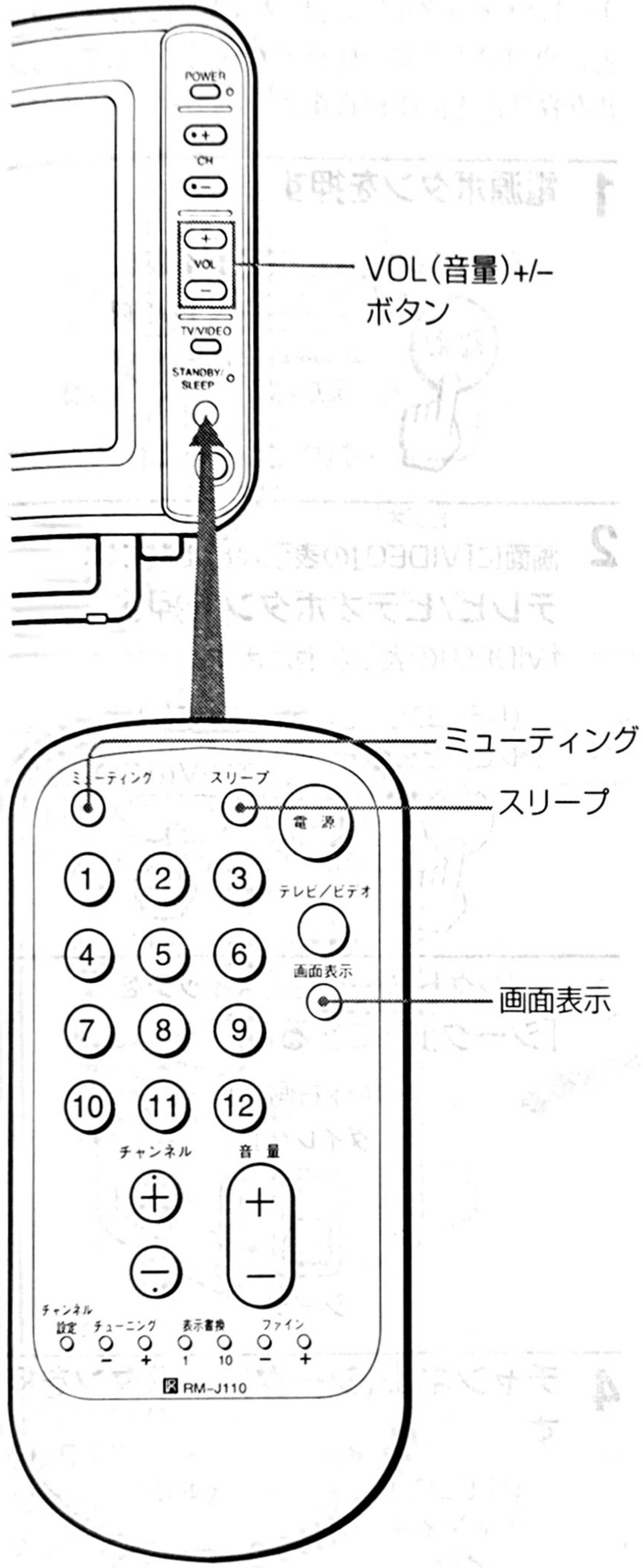


見やすい濃さにするには

見やすい明るさにするには

まん中のカチッと止まるところが標準です。

便利な機能



画面表示を出すには

画面表示

チャンネル表示が出たままになりますが、ほかの表示は数秒後に消えます。

画面表示を消すには

もう一度画面表示ボタンを押します。

画像はそのままで音だけを消すには —ミューティング(消音)機能

電話の応対などのときに便利です。

ミューティング

「MUTE(ミュート)」の表示が出て、音が消えます。

ミューティングを取り消すには

もう一度ミューティングボタンを押すか、(リモコンまたは本体の)音量ボタンの+を押します。

ご注意

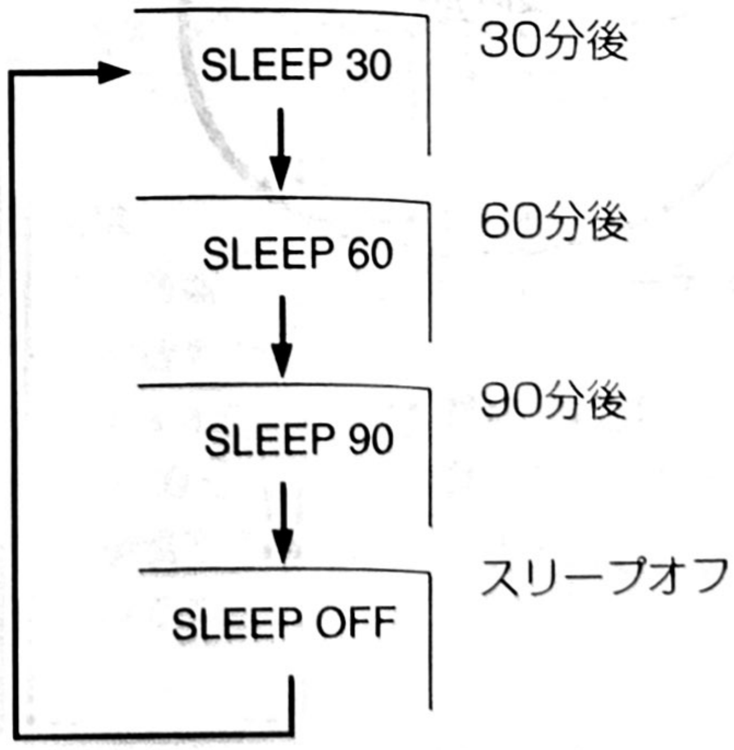
通常はリモコンのミューティングボタンを押しても(画面に「MUTE」の表示)、後面の音声出力端子からの出力は切れませんが、この状態でチャンネル選局またはテレビ/ビデオ切り換えを行うと音声出力端子からの出力は切れたままになります。このような場合は、もう一度ミューティングボタンを押して、「MUTE」を解除(画面の表示が消える)してください。

自動的に電源が切れるようにするには —スリープ機能

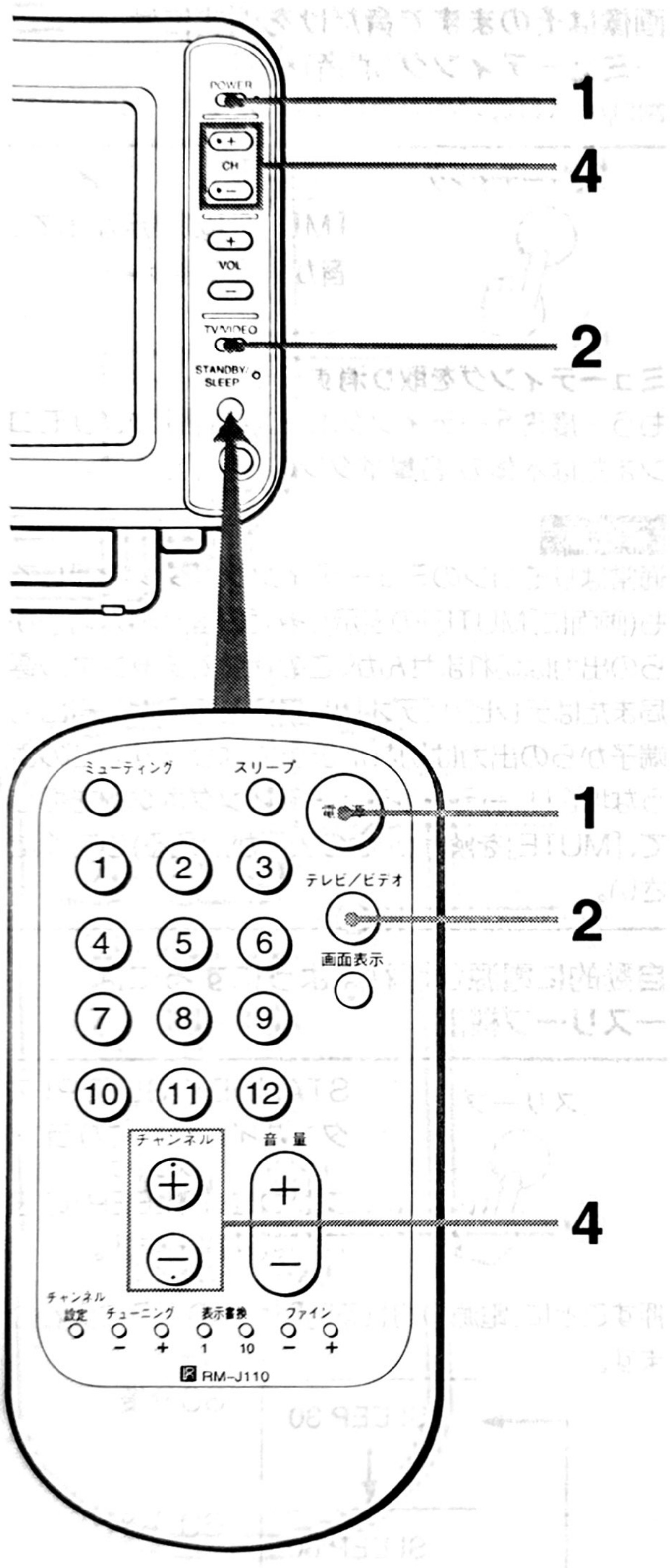
スリープ

STANDBY/SLEEP(スタンバイ/スリープ)ランプがつき、「SLEEP(スリープ)」の表示が数秒間出ます。

押すごとに、電源の切れる時間が次のように変わります。

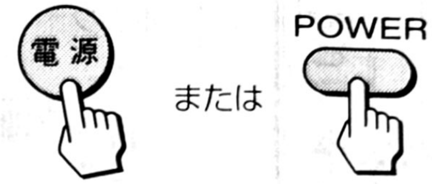


便利な機能　移動中や旅先でチャンネルを選局するには—シーク選局



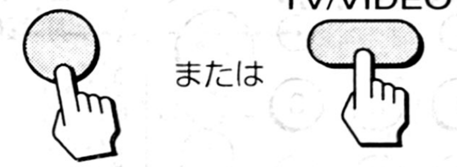
1〜12チャンネルに登録されていない放送を見るときや、車内及び旅行中などで受信できるチャンネルを探すときに便利です。

1 電源ボタンを押す

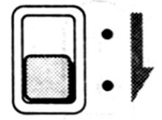


2 画面に「VIDEO（ビデオ）」の表示が出たときは、テレビ/ビデオボタンを押す

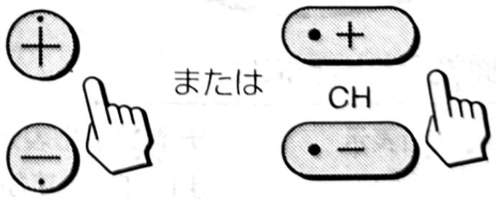
「VIDEO」の表示が消えます。



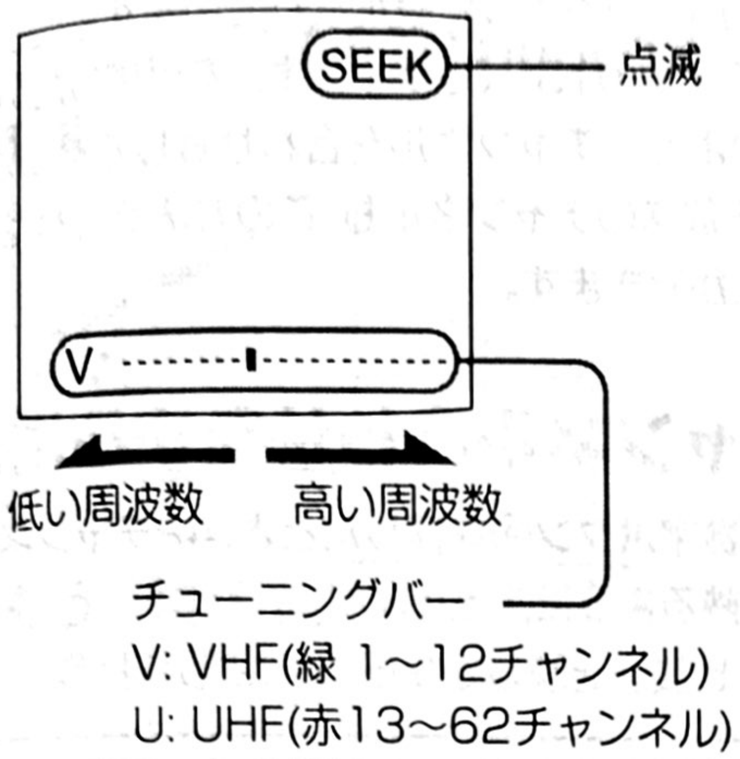
3 ダイレクト/シーク選局スイッチを「シーク」側にする



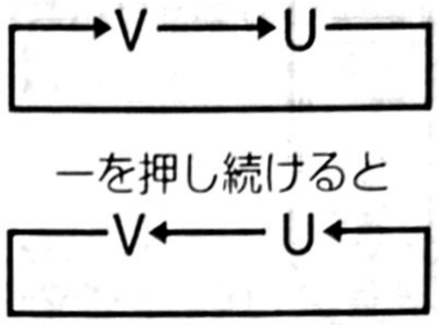
4 チャンネル(シーク)+/–ボタンを押す



+を押す：高い周波数のチャンネルを探します。
–を押す：低い周波数のチャンネルを探します。



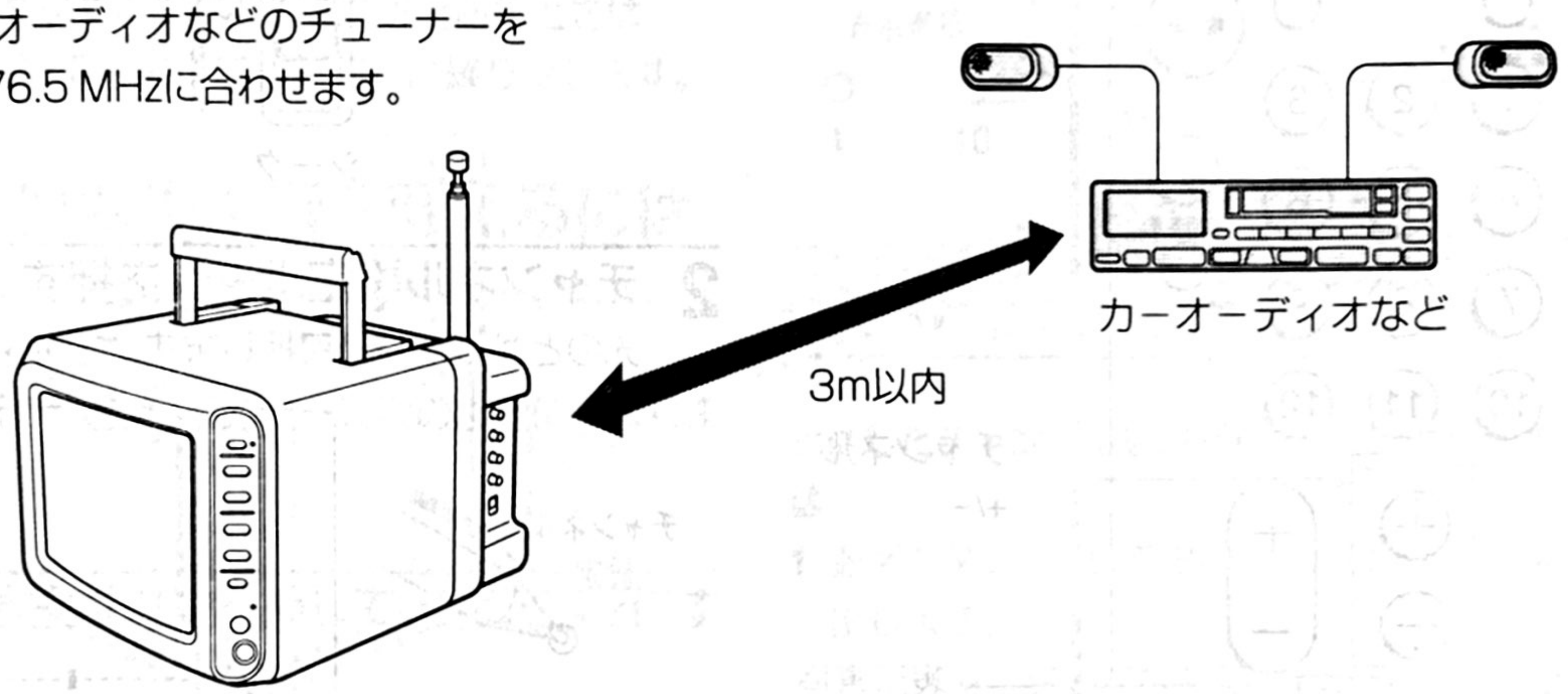
放送を受信すると、「SEEK(シーク)」の表示が点滅から点灯に変わり、約3秒後にチューニングバーとともに消えます。
チャンネル+/– ボタンを押し続けると、下のようにチャンネルを探します。



もう一度チューニングバーを出すには
画面表示ボタンを押します。

カーオーディオなどでテレビの音声を楽しむには

カーオーディオなどのチューナーを
FM76.5 MHzに合わせます。



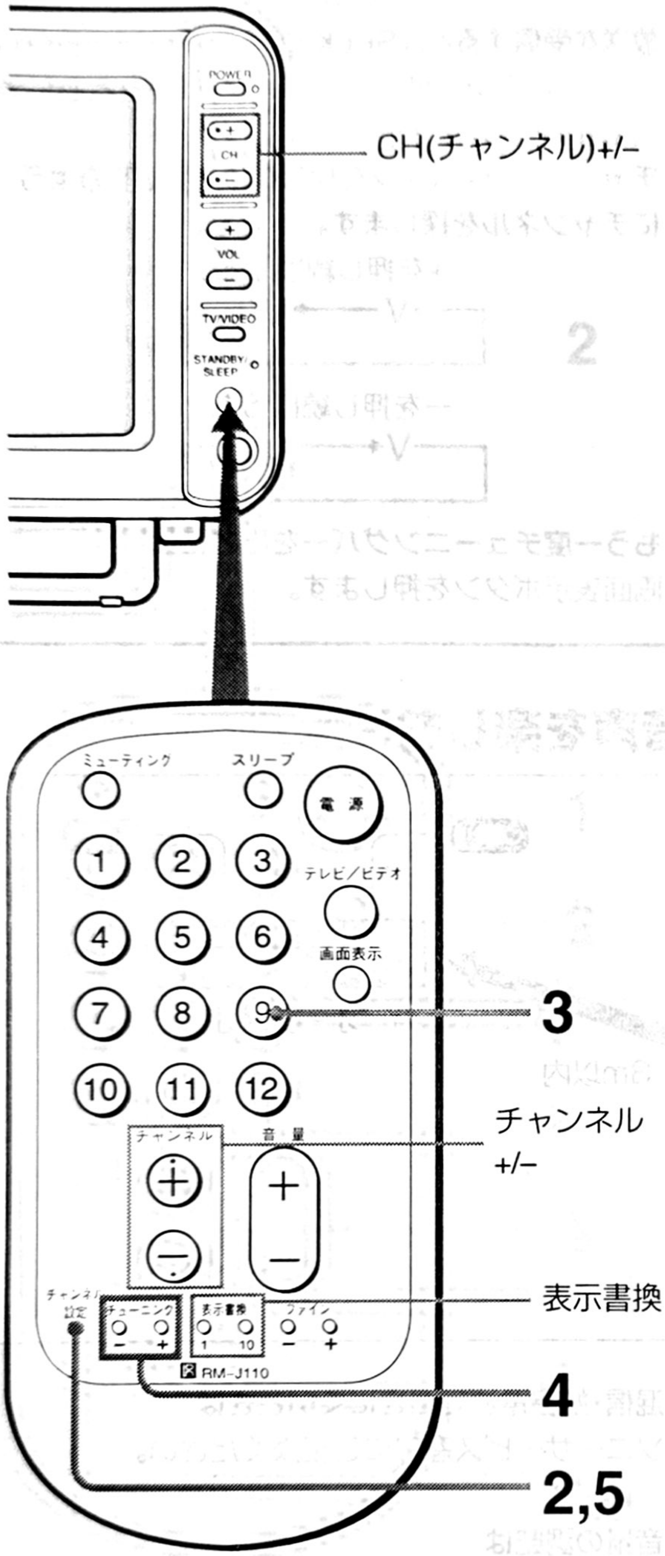
本機でテレビをご覧になっているときは、常に76.5 MHzのFM電波が発振されています。上図のように3 m以内にカーオーディオなどのアンテナが置いてあると、カーオーディオ機器でテレビの音声がお楽しみになれます。

混信・妨害電波で聞きにくいときは
ソニーサービス窓口にご相談ください。

音量の調整は

1 テレビ側の音量+/–ボタンまたはミューティングボタンで音を消す。
2 カーオーディオ機器のアンプ側で音量を調整する。(テレビのミューティングボタンと音量+/–ボタンで調整できるのは、テレビのスピーカーの音量のみです。)

チャンネル合わせをするには



本機はお買い上げ時にはVHFの1～12チャンネルが順に映るように設定されています。
UHF放送の13~62チャンネルを受信したい方は次のようにチャンネルを合わせ直してください。
VHF放送のチャンネルも、この方法で合わせ直すことができます。

チャンネル合わせをするには

例 数字ボタン⑨を押したとき、42チャンネルが映るようにする

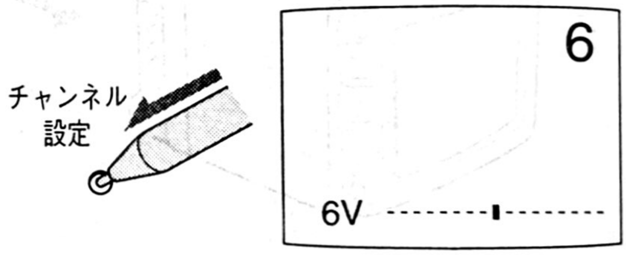
テレビ放送を映してから、次のように操作します。

1 ダイレクト/シーク選局スイッチを
「ダイレクト」側にする

(本体右側面)

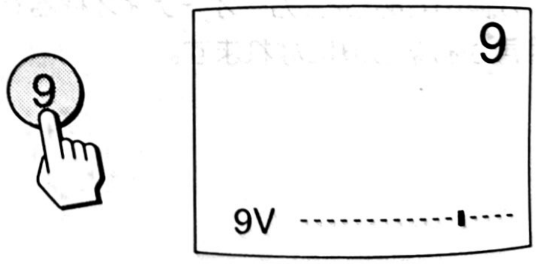
2 チャンネル設定ボタンを押す

先のとがったもので押します。



3 数字ボタン⑨を押す

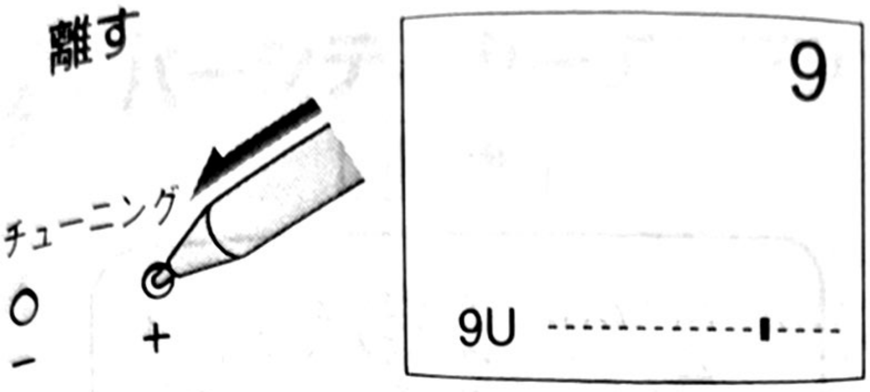
リモコンまたは本体のチャンネル+/−ボタンを押して選ぶこともできます。



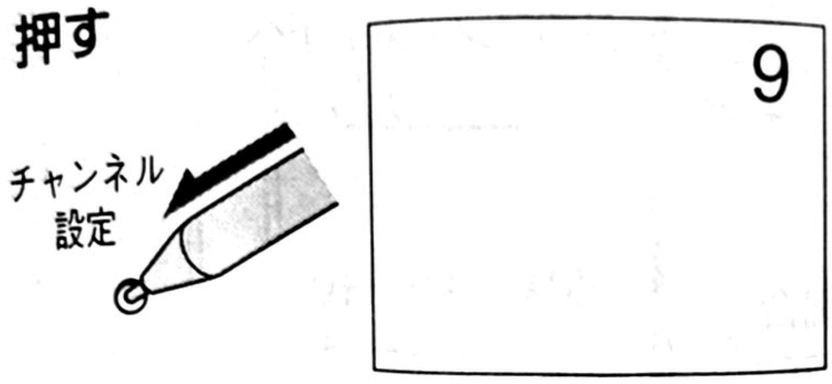
UHF放送の正しいチャンネル番号は

新聞などでお確かめください。
放送局によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。

4 **チューニング+/−ボタンを押し続けて、UHF42チャンネルが映ったら離す**



5 **もう一度チャンネル設定ボタンを押す**



合わせたいチャンネルが2つ以上あるときは
以上の2～5の操作を必要なだけ繰り返します。

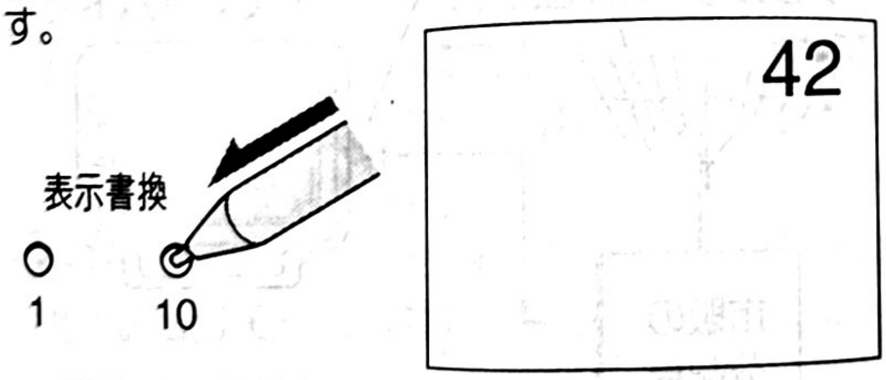
チャンネル表示を変えるには

例 **数字ボタン⑨を押したとき、チャンネル表示42がでるようにするには**

数字ボタン⑨を押してから、次のように操作します。

表示書換ボタンを押して、表示を42にする

1を押すと、−の位が0～9の順に変わります。10を押すと、+の位が、表示なし～1～9の順に変わります。



これで設定は終わりました。
画面上の表示は数秒後に消えます。

引越し先の放送チャンネル番号が、それまでの放送チャンネル番号と違う場合に、使いなれているチャンネル番号に表示を変えると便利です。

放送のないチャンネルをとばすには一表示書換

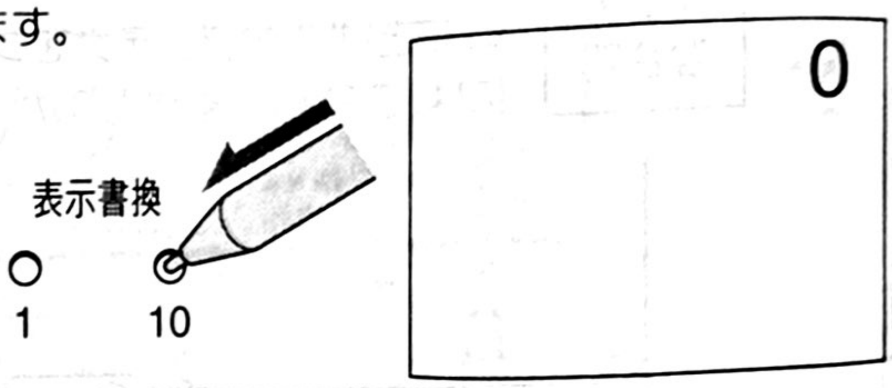
チャンネル+/−ボタンを押したとき、放送のないチャンネルや、見ないチャンネルをとばす（選局しない）ことができます。

例 **11チャンネルをとばすには**

11チャンネルを映してから、次のように操作します。

表示書換ボタンを押して、表示を0にする

1を押すと、−の位が0～9の順に変わります。10を押すと、+の位が、表示なし～1～9の順に変わります。



これで、設定は終わりました。
画面上の表示は数秒後に消えます。

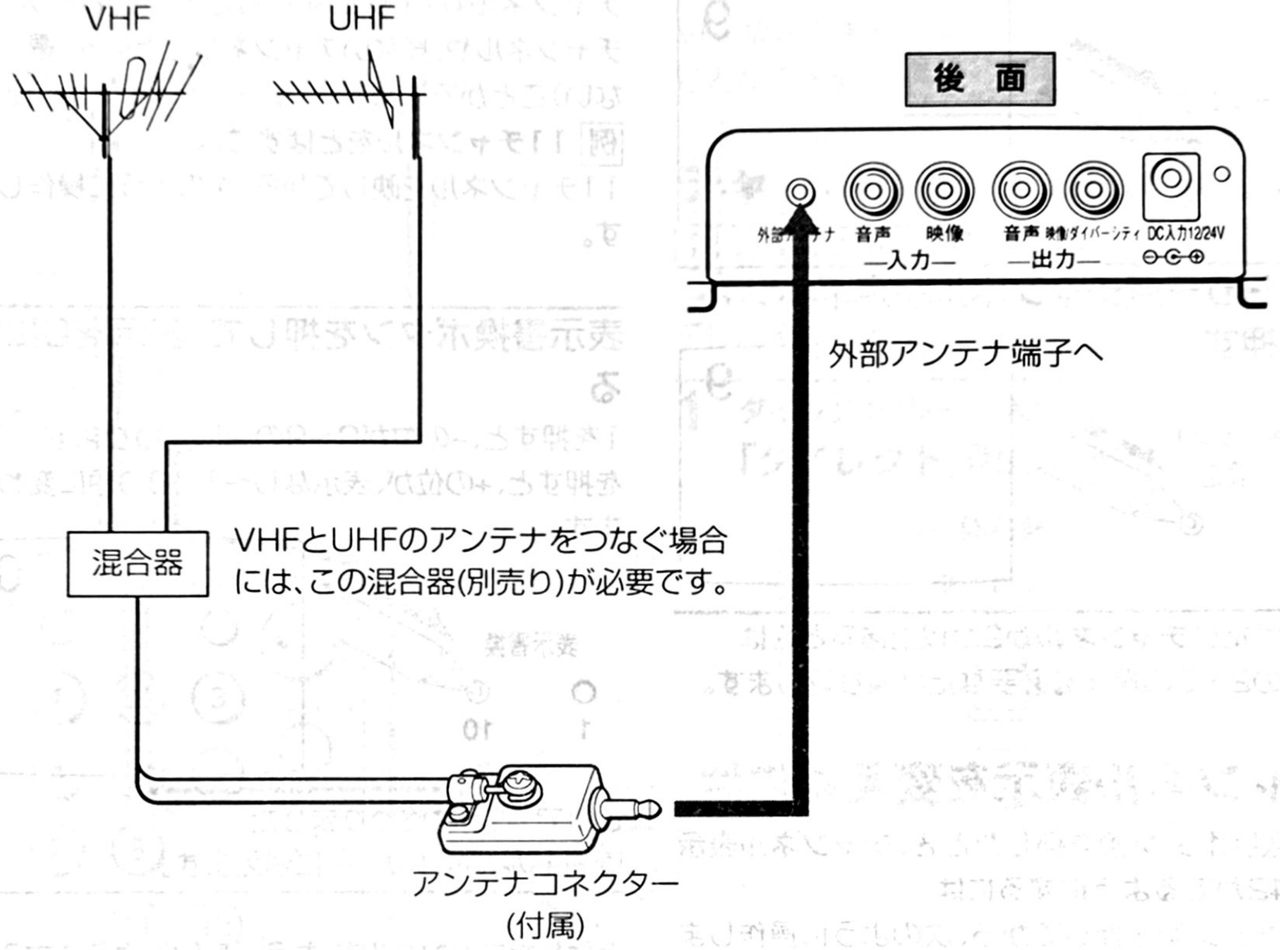
とばしたチャンネルを、もう一度映るようにするには

1. 数字ボタンを押して、映らなくしたチャンネルを出します。
2. 表示書換ボタンを押して、0以外の表示にします。

外部アンテナをつなぐには

より美しい画像でお楽しみいただくためには、屋外アンテナをお使いになることをおすすめします。

屋外アンテナをつなぐ

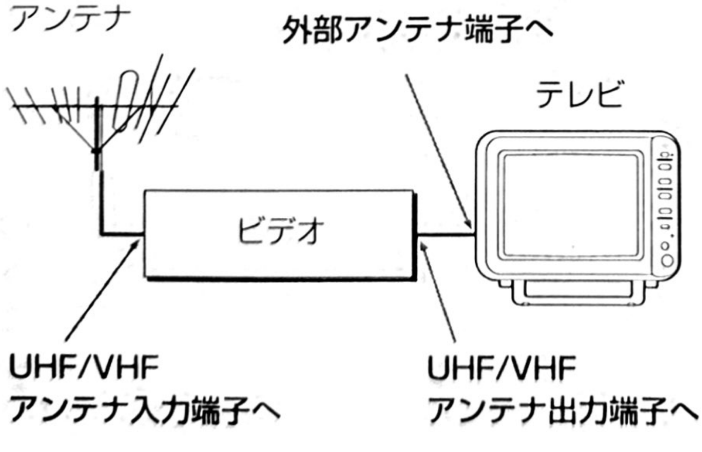


VHFとUHFのアンテナをつなぐ場合には、この混合器(別売り)が必要です。

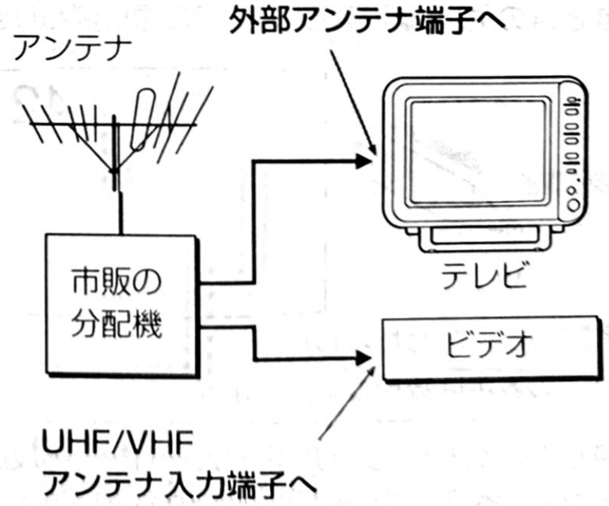
ビデオデッキをつないで見るとき

下図のように二つの方法があります。特に電波が弱い地域では、市販のブースターをお使いください。

ビデオデッキを経由した場合

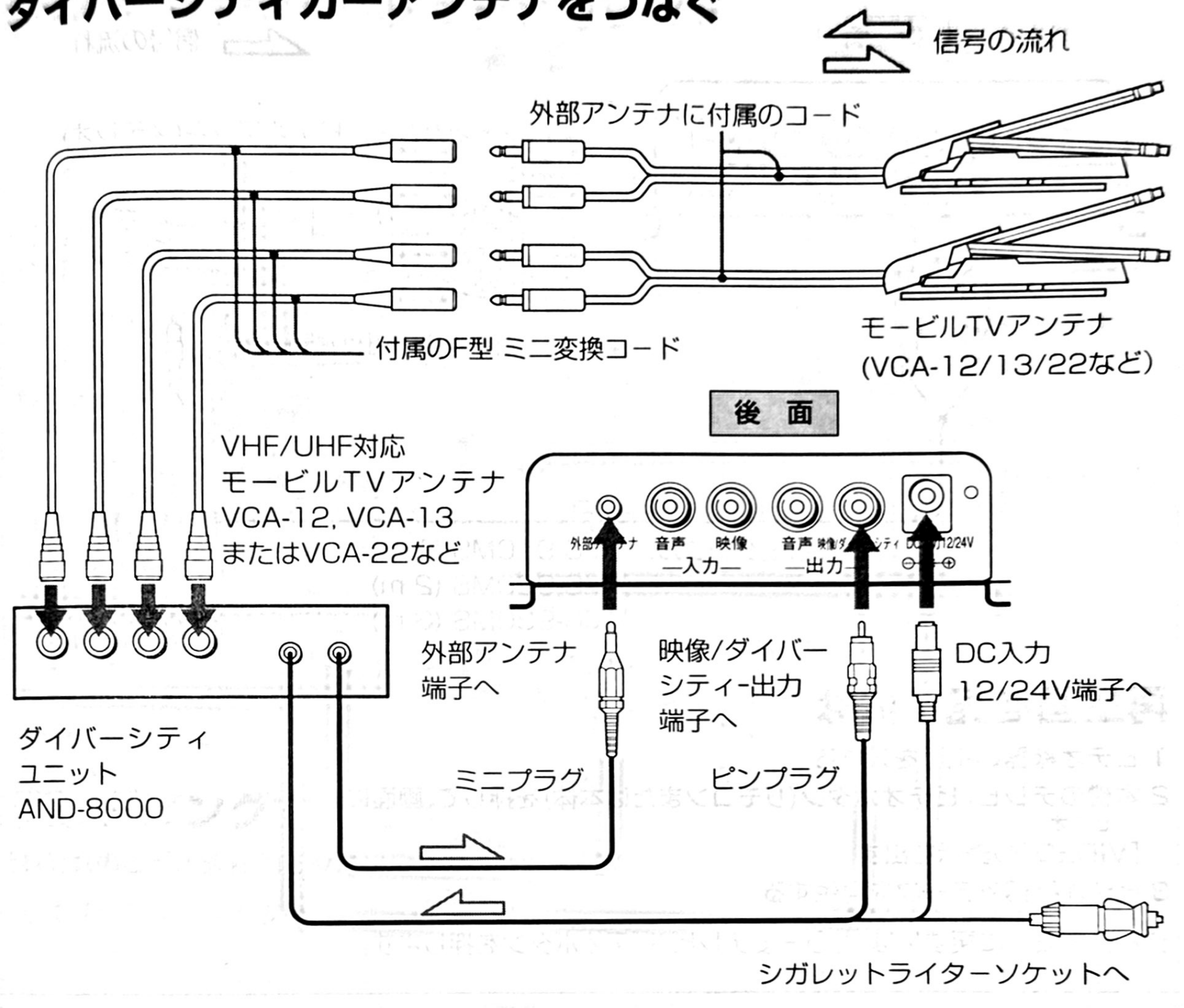


分配器を使った場合



自動車の中で最良の電波を受信するためには、ダイバーシティユニットAND-8000*とVHF/UHF対応モービルTVアンテナVCA-12/13/19などをお使いになることをおすすめします。

ダイバーシティカーアンテナをつなぐ

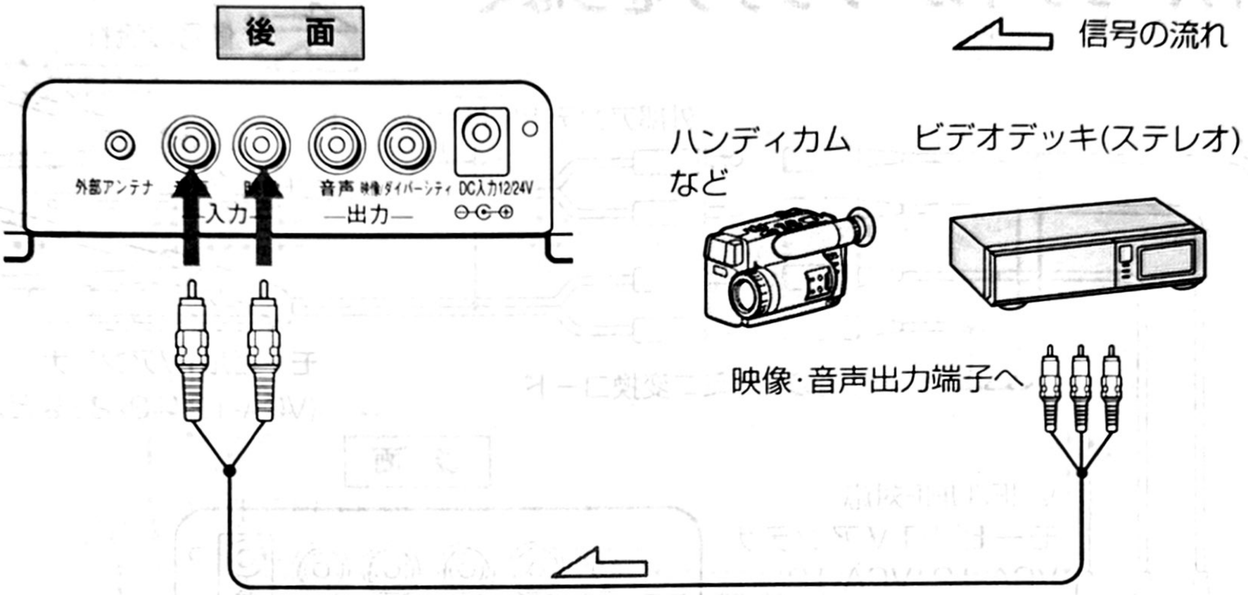


* ダイバーシティユニットAND-8000は、モービルTVアンテナをつなぐことにより、走行中の自動車の中で最良の電波を受信するためのコントロールボックスです。
詳しくは、ダイバーシティユニットおよびモービルTVアンテナの取扱説明書をご覧ください。

ビデオ機器をつなぐには

必ず、本機とビデオ機器の電源を切ってからつないでください。

つなぎかた



接続ケーブル: VMC-910MS (1 m)
VMC-920MS (2 m)
VMC-930MS (3 m)

再生画を見るには

1 ビデオ機器の電源を入れる
2 本機のテレビ/ビデオボタン(リモコンまたは本体)を押して、画面に「VIDEO（ビデオ）」の表示を出す
3 ビデオ機器でテープを再生する

テレビの放送に戻すには、もう一度テレビ/ビデオボタンを押します。

映像･音声出力端子のないビデオ機器とつなぐには

ビデオ機器のアンテナ出力端子と本機の外部アンテナ端子をつなぎます。

つないだ機器の再生画を見るには

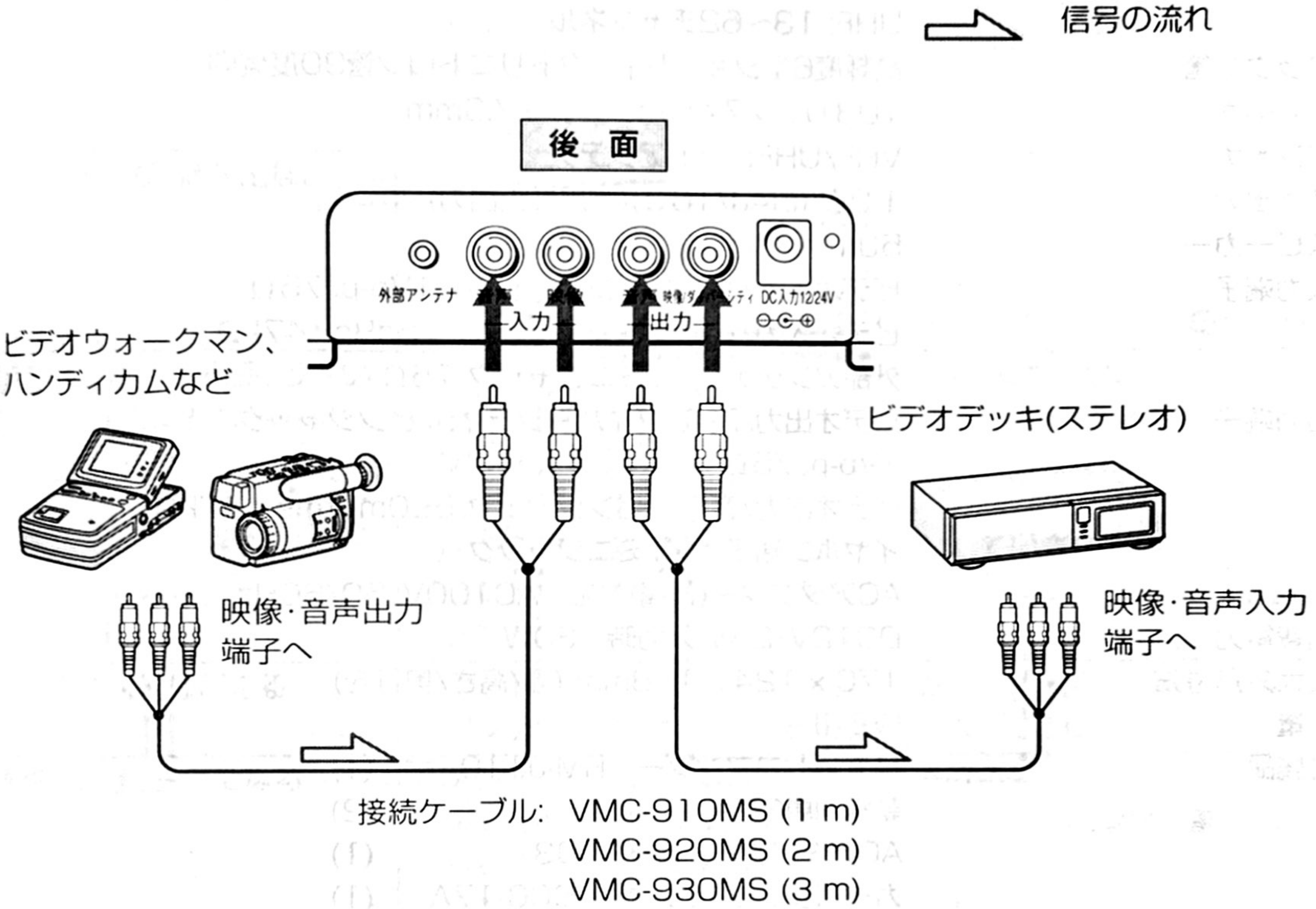
1 ビデオ機器の電源を入れる。
2 ビデオ機器をテレビモードまたは再生モードにする。
3 ビデオ機器で選んだチャンネル(1または2)と同じチャンネルを本機で選ぶ。

詳しくはビデオ機器の説明書をご覧ください。

ビデオ機器をつなぐときのご注意

- 画面が乱れたり、雑音が入る場合は、ビデオ機器と本機を十分離してください。
- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

録画/ダビングするときのつなぎかた



録画/ダビングするには

それぞれのビデオ機器側で操作する

詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF: 1～12チャンネル UHF: 13～62チャンネル
ブラウン管	高輝度6型ショートネックトリニトロン管90度偏向
有効画面	103.0 x 77.4mm、対角127.3mm
アンテナ	VHF/UHFロッドアンテナ
音声出力	1.0W (EIAJ/16Ω)(実用最大出力)
スピーカー	50mm　丸型
入力端子	ビデオ入力/映像 ：ピンジャック　1Vp-p、75Ω ビデオ入力/音声 ：ピンジャック　–5dBs、47kΩ 外部アンテナ　：ミニジャック 75Ω
出力端子	ビデオ出力/映像/ダイバーシティ：　ピンジャック 1Vp-p、75Ω ビデオ出力/音声 ：ピンジャック 500mVrms　47kΩ イヤホン端子　：ミニジャック
電源	ACアダプター(付属)対応　AC100V、50/60Hz
消費電力	DC12V/24V 入力時　30W
最大外形寸法	170 x 124 x 188mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約2.4kg
付属品	リモートコマンダー　RM-J110　(1) 乾電池単3形　(2) ACアダプター　AC-6AD3　(1) カーバッテリーコード　DCC-17A　(1) アンテナコネクター　(1) 取扱説明書　(1) 保証書　(1) サービス窓口・ご相談窓口のご案内　(1) 使用上のご注意　(1)
別売りアクセサリー	接続コード　VMC-910MS/920MS/930MS ダイバーシティユニット　AND-8000 モービルTVアンテナ　VCA-12/13/22 バッテリーパック　NP-4000 カーブラケット　GM-610 フード　VF-6AD3

このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、もう一度お調べください。

症 状	原 因・処 置
画像、音が全く出ない	□ACアダプターまたはカーバッテリーコードがはずれていませんか? □電源ボタンを押しましたか? □テレビ/ビデオボタンを押してください。
画像は出るが、音が出ない	□音量ボタンの+を押してください。 □ヘッドホンをつないでいませんか? □画面に「MUTE（ミュート）」の表示が出ていませんか? ミューティングボタンを押して、表示を消してください。(⓭ページ)
雪が降るような画面、うすい画面、風が吹くとちらつく	□ファイン+/−ボタンを押して調整してみてください。 **ロッドアンテナの場合** □アンテナを引き出して、方向、角度を調整しましたか? **外部アンテナの場合** □アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか? □アンテナ線がはずれていませんか? □アンテナの寿命ではありませんか?
はん点や点模様が走る	ヘヤードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。 □アンテナはなるべく雑音源から離してください。
画像が二重、三重になる	□アンテナ線がはずれかかっていませんか? 山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 □アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 □急に画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	□画質を調整してください。(⓬ページ)
つないだ機器の画像、音が出ない	□接続コードがはずれていませんか? □テレビ/ビデオボタン(本体またはリモコン)を押してください。
特定のチャンネルだけがきれいに映らない	□チャンネルを合わせ直してください。(⓰ページ)
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	□画面に「VIDEO（ビデオ）」の表示が出ていませんか? テレビ/ビデオボタンを押して表示を消してください。(❿ページ) □リモコンの乾電池が消耗していませんか? □ダイレクト/シーク選局スイッチが「ダイレクト」側になっていますか?(❿ページ)

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを	「故障とお考えになる前に」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。
それでも具合の悪いときはサービス窓口へ	お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
部品の保有期間について	当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。 なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名: KV-6AD3

故障の状態: できるだけくわしく

購入年月日:

このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)251-5111

Printed in Japan